

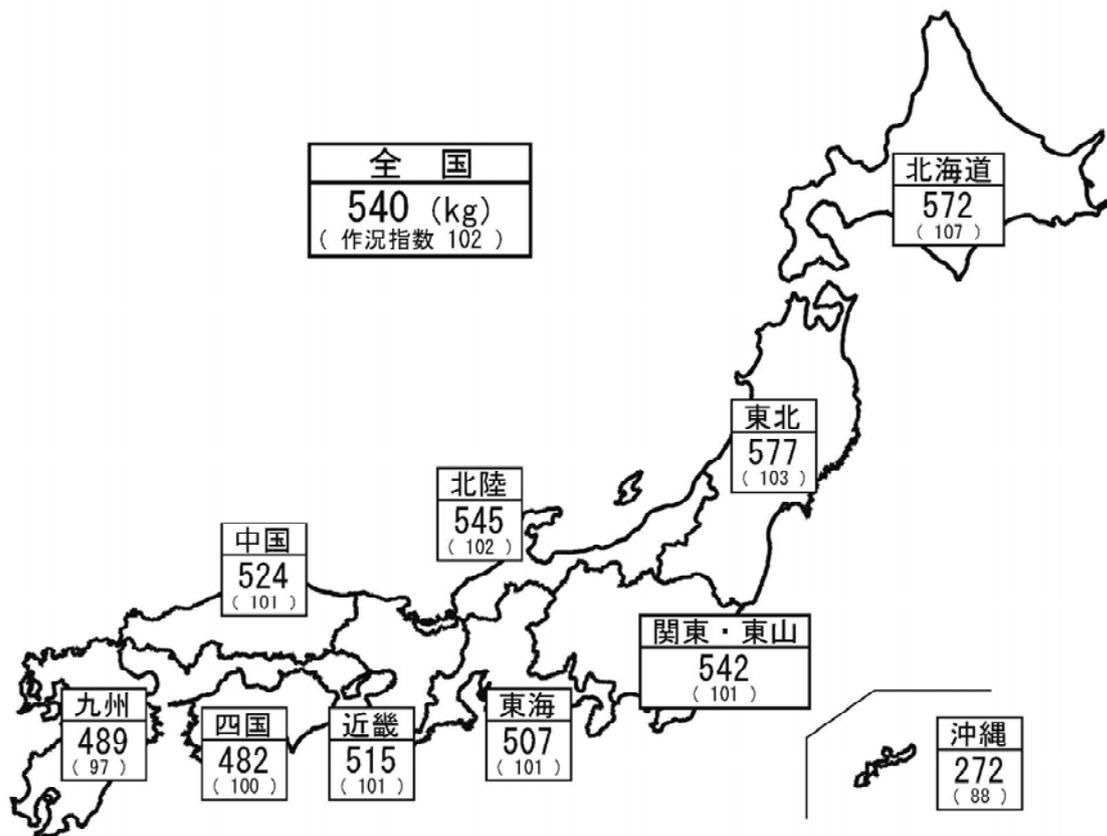
平成24年産水陸稲の収穫量

— 水稲の10 a 当たり収量は540kg（作況指数102） —
収穫量（子実用）は851万9,000 t

【調査結果の概要】

- 1 平成24年産水稲の作柄は、全もみ数が一部地域を除きおおむね平年並みに確保されたことに加え、登熟も順調に推移したことから、全国の10 a 当たり収量は540kg（作況指数102）、収穫量（子実用）は851万9,000 t（前年産対比101%）と見込まれる。
- 2 平成24年産陸稲の作付面積（子実用）は2,110ha（前年産対比89%）で、収穫量（子実用）は3,630 t（同70%）となった。

図 平成24年産水稲の全国農業地域別10 a 当たり収量



○ 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率である。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口 (e-Stat) の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 水稲作況調査結果の利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び達成状況の確認のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎ 累年データ

水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	水 陸 稲 計		水 稲						
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 穫 量	収 穫 量 (子実用)	参 考			作況指数
						主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	10 a 当たり 平 年 収 量	
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg	
昭和58年産	2,273,000	10,366,000	2,246,000	459	10,308,000	…	…	478	96
59	2,315,000	11,878,000	2,290,000	517	11,832,000	…	…	479	108
60	2,342,000	11,662,000	2,318,000	501	11,613,000	…	…	481	104
61	2,303,000	11,647,000	2,280,000	508	11,592,000	…	…	484	105
62	2,146,000	10,627,000	2,123,000	498	10,571,000	…	…	487	102
63	2,110,000	9,935,000	2,087,000	474	9,888,000	…	…	490	97
平成元年産	2,097,000	10,347,000	2,076,000	496	10,297,000	…	…	492	101
2	2,074,000	10,499,000	2,055,000	509	10,463,000	…	…	494	103
3	2,049,000	9,604,000	2,033,000	470	9,565,000	…	…	497	95
4	2,106,000	10,573,000	2,092,000	504	10,546,000	…	…	498	101
5	2,139,000	7,834,000	2,127,000	367	7,811,000	…	…	499	74
6	2,212,000	11,981,000	2,200,000	544	11,961,000	…	…	499	109
7	2,118,000	10,748,000	2,106,000	509	10,724,000	…	…	501	102
8	1,977,000	10,344,000	1,967,000	525	10,328,000	…	…	502	105
9	1,953,000	10,025,000	1,944,000	515	10,004,000	…	…	504	102
10	1,801,000	8,960,000	1,793,000	499	8,939,000	…	…	507	98
11	1,788,000	9,175,000	1,780,000	515	9,159,000	…	…	512	101
12	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	518	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	518	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	522	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	524	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	525	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	527	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	529	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	529	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	530	102

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。

3 「…」は事実不詳又は調査を欠くことを示している。

【調査結果】

1 作柄概況

(1) 水 稲（統計表 8、9 ページ参照）

ア 平成24年産水稲の地域別の作柄は、北海道では、生育期間を通して天候に恵まれたことにより、全もみ数がやや多く、登熟も順調に推移したことから、10 a 当たり収量は572kg（作況指数107）となった。

東北から四国では、総じて天候に恵まれ、全もみ数がおおむね平年並みに確保された地域が多く、登熟もおおむね平年を上回ったことから、東北は10 a 当たり収量577kg（同103）、北陸は545kg（同102）、関東・東山は542kg（同101）、東海は507kg（同101）、近畿は515kg（同101）、中国は524kg（同101）、四国は482kg（同100）となった。

九州では、6月の日照不足等の影響により全もみ数が総じて平年を下回ったことに加え、北部で台風第16号による被害等が発生したことから、10 a 当たり収量489kg（同97）となった。

この結果、全国の10 a 当たり収量は540kg（同102）と見込まれる。

イ 以上の結果、収穫量（子実用）は851万9,000 t と見込まれる。

また、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は821万 t と見込まれる。

(2) 陸 稲（統計表 9 ページ参照）

平成24年産陸稲の作柄は、主産県の茨城県及び栃木県において、出穂後の高温、少雨により干害が発生したこと等から、全国の10 a 当たり収量は172kg（平均収量対比68%）となった。

表 1 平成24年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）

全国農業地域	水陸稲計		水 稲						
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用) ①	10 a 当たり 収 量 ②	収 穫 量 (子実用) ③=①×②	参 考			
						主食用 作付面積 ④	収 穫 量 (主食用) ⑤=④×②	10 a 当たり 平年収量 ⑥	作況指数 ⑦=②/⑥
ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg		
全 国	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	530	102
北 海 道	112,000	640,600	112,000	572	640,600	108,700	621,800	535	107
東 北	396,700	2,288,000	396,700	577	2,288,000	374,500	2,159,000	559	103
北 陸	209,400	1,141,000	209,400	545	1,141,000	194,100	1,057,000	534	102
関 東・東 山	297,600	1,607,000	295,500	542	1,603,000	288,000	1,563,000	535	101
東 海	101,900	516,900	101,900	507	516,900	100,800	510,900	503	101
近 畿	109,100	561,400	109,100	515	561,400	107,400	552,700	509	101
中 国	114,700	601,400	114,700	524	601,400	113,000	592,100	517	101
四 国	55,800	269,000	55,800	482	269,000	55,500	267,100	484	100
九 州	183,300	895,700	183,300	489	895,700	181,200	884,500	503	97
沖 縄	919	2,500	919	272	2,500	919	2,500	309	88

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。

3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

2 水稻の被害概況（統計表10ページ参照）

平成24年産水稻の被害を被害種類別にみると、日照不足が最も大きく（被害総量に占める割合28%）、次いで風水害（同11%）、いもち病（同11%）となっている。

表2 平成24年産水稻の被害面積及び被害量（全国）

被害種類	被害面積	被害量	
		実数	構成比
総数	3,083,000 ^{ha}	526,000 ^t	100%
うち気象被害	1,729,000	329,900	63
風水害	260,400	56,800	11
干害	19,600	6,550	1
冷害	75,500	14,100	3
日照不足	666,700	149,000	28
高温障害	454,600	44,500	8
その他	251,900	58,900	11
うち病害	701,800	123,700	24
いもち病	239,300	56,800	11
紋枯病	235,500	37,400	7
その他	227,000	29,500	6
うち虫害	532,200	49,700	9
ニカメイチュウ	58,900	5,610	1
ウンカ	80,000	15,300	3
カメムシ	113,100	11,100	2
その他	280,200	17,700	3

注：1 被害面積は、同一地域で2種類以上の被害を受けた場合は重複して計上している（10ページの統計表2について同じ。）。

2 気象被害のその他は、異常低温等である。

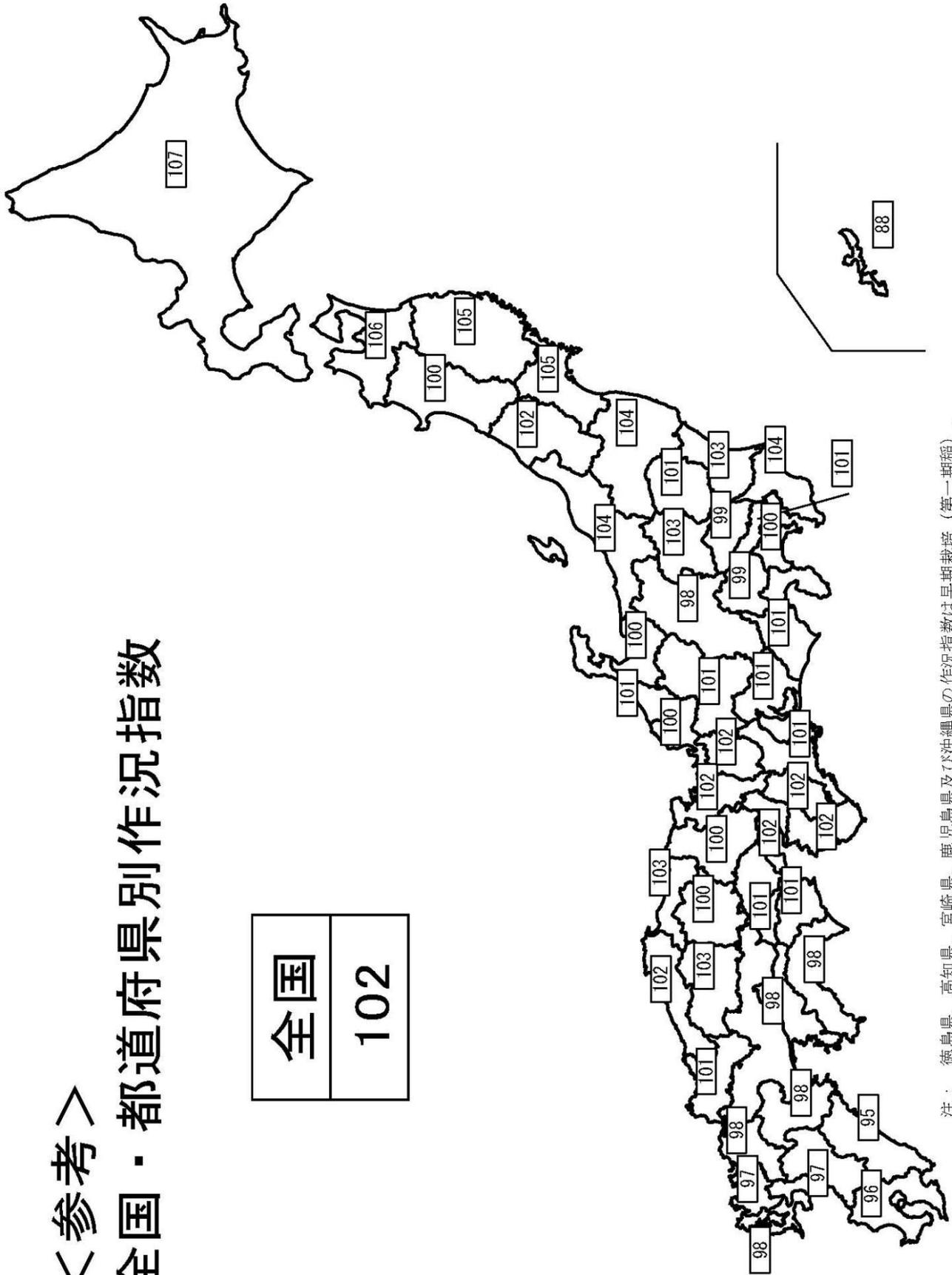
3 病害のその他は、胡麻葉枯病、もみ枯細菌病等である。

4 虫害のその他は、イネミズゾウムシ、コブノメイガ等である。

<参考>

全国・都道府県別作況指数

全国
102



注：徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

【統計表】

統計表一覧

ページ

1	平成24年産水陸稲の収穫量	8
2	平成24年産水稲の被害面積及び被害量	10
参考1	平成24年産水稲の作柄表示地帯別作況指数	11
参考2	平成24年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量（子実用）及び10 a 当たり収量（全国農業地域別）	13
参考3	農家等が使用した選別ふるい目幅の分布 【平成24年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞取り結果】	15
参考4	収穫量調査の流れ	16
参考5	作況標本筆とは	17

利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
 - 「0」： 単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）
 - 「－」： 事実のないもの
 - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「x」： 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
 - 「△」： 負数又は減少したもの
 - 「nc」： 計算不能
- 3 秘匿方法について

統計調査結果について、調査対象者数が2以下の場合には調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。

なお、全体（計）からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

1 平成24年産水陸稲の収穫量

全 国 都 道 府 県	水 陸 稲 計		水			
	作 付 面 積 (子 実 用)	収 穫 量 (子 実 用)	作 付 面 積 (子 実 用) ①	10 a 当 たり 収 量 ②	収 穫 量 (子 実 用) ③=①×②	主 食 用 作 付 面 積 ④
	ha	t	ha	kg	t	ha
全 国 (1)	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000
北 海 道 (2)	112,000	640,600	112,000	572	640,600	108,700
青 森 (3)	47,800	295,900	47,800	619	295,900	45,200
岩 手 (4)	54,600	305,200	54,600	559	305,200	52,400
宮 城 (5)	70,200	392,400	70,200	559	392,400	69,300
秋 田 (6)	91,100	522,000	91,100	573	522,000	78,600
山 形 (7)	66,800	403,500	66,800	604	403,500	63,000
福 島 (8)	66,200	368,700	66,200	557	368,700	66,000
茨 城 (9)	77,200	411,600	75,800	540	409,300	74,000
栃 木 (10)	63,800	344,800	63,200	544	343,800	60,900
群 馬 (11)	17,800	90,400	17,800	508	90,400	16,800
埼 玉 (12)	35,300	171,700	35,300	486	171,600	34,700
千 葉 (13)	60,600	334,100	60,500	552	334,000	59,500
東 京 (14)	167	676	161	416	670	161
神 奈 川 (15)	3,220	15,800	3,210	493	15,800	3,210
新 潟 (16)	117,500	655,700	117,500	558	655,700	107,300
富 山 (17)	39,000	209,000	39,000	536	209,000	36,300
石 川 (18)	26,400	138,900	26,400	526	138,900	25,100
福 井 (19)	26,400	137,000	26,400	519	137,000	25,400
山 梨 (20)	5,280	28,600	5,280	542	28,600	5,230
長 野 (21)	34,200	208,600	34,200	610	208,600	33,600
岐 阜 (22)	24,600	121,000	24,600	492	121,000	24,400
静 岡 (23)	17,100	89,800	17,100	525	89,800	17,000
愛 知 (24)	30,100	153,500	30,100	510	153,500	29,600
三 重 (25)	30,100	152,600	30,100	507	152,600	29,700
滋 賀 (26)	32,800	173,500	32,800	529	173,500	32,200
京 都 (27)	15,600	81,000	15,600	519	81,000	15,400
大 阪 (28)	5,680	28,800	5,680	507	28,800	5,670
兵 庫 (29)	38,300	192,300	38,300	502	192,300	37,500
奈 良 (30)	9,250	48,400	9,250	523	48,400	9,200
和 歌 山 (31)	7,430	37,400	7,430	504	37,400	7,430
鳥 取 (32)	14,000	73,800	14,000	527	73,800	13,900
島 根 (33)	19,100	99,100	19,100	519	99,100	18,900
岡 山 (34)	32,700	172,300	32,700	527	172,300	32,100
広 島 (35)	26,000	140,100	26,000	539	140,100	25,500
山 口 (36)	22,900	116,100	22,900	507	116,100	22,500
徳 島 (37)	13,200	63,000	13,200	477	63,000	13,100
早 期 栽 培 (38)	5,100	464	23,700	...
普 通 栽 培 (39)	8,120	485	39,400	...
香 川 (40)	14,500	73,100	14,500	504	73,100	14,400
愛 媛 (41)	15,300	75,000	15,300	490	75,000	15,200
高 知 (42)	12,900	57,900	12,900	449	57,900	12,800
早 期 栽 培 (43)	7,550	35,400	7,550	469	35,400	...
普 通 栽 培 (44)	5,310	22,200	5,310	419	22,200	...
福 岡 (45)	38,500	188,700	38,500	490	188,700	37,900
佐 賀 (46)	26,600	135,400	26,600	509	135,400	26,400
長 崎 (47)	13,700	64,100	13,700	468	64,100	13,600
熊 本 (48)	38,100	190,900	38,100	501	190,900	37,600
大 分 (49)	23,600	115,900	23,600	491	115,900	23,500
宮 崎 (50)	19,100	90,300	19,100	473	90,300	18,900
早 期 栽 培 (51)	7,970	471	37,500	...
普 通 栽 培 (52)	11,100	474	52,600	...
鹿 児 島 (53)	23,800	110,400	23,800	464	110,400	23,200
早 期 栽 培 (54)	5,450	425	23,200	...
普 通 栽 培 (55)	18,300	475	86,900	...
沖 縄 (56)	919	2,500	919	272	2,500	919
第 一 期 稲 (57)	595	2,140	595	359	2,140	...
第 二 期 稲 (58)	324	366	324	113	366	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。

稲			陸 稲				(参 考) 10 a 当たり 平均収量 対 比
参 考		作 況 指 数 ⑦=②/⑥	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	%	
収 穫 量 (主 食 用) ⑤=④×②	10 a 当 たり 平 年 収 量 ⑥						
t	kg		ha	kg	t		
8,210,000	530	102	2,110	172	3,630	68	(1)
621,800	535	107	-	-	-	-	(2)
279,800	582	106	11	257	28	102	(3)
292,900	533	105	2	194	4	98	(4)
387,400	530	105	x	x	x	x	(5)
450,400	573	100	1	142	1	68	(6)
380,500	594	102	0	84	0	52	(7)
367,600	537	104	4	125	5	74	(8)
399,600	522	103	1,390	166	2,310	63	(9)
331,300	540	101	533	192	1,020	77	(10)
85,300	494	103	20	152	30	89	(11)
168,600	490	99	51	129	66	68	(12)
328,400	533	104	57	184	105	98	(13)
670	411	101	6	97	6	64	(14)
15,800	493	100	15	150	23	81	(15)
598,700	539	104	3	190	6	82	(16)
194,600	537	100	-	-	-	nc	(17)
132,000	519	101	-	-	-	nc	(18)
131,800	517	100	-	-	-	nc	(19)
28,300	547	99	-	-	-	nc	(20)
205,000	623	98	-	-	-	nc	(21)
120,000	488	101	-	-	-	nc	(22)
89,300	521	101	0	212	1	96	(23)
151,000	507	101	0	120	0	89	(24)
150,600	500	101	x	x	x	x	(25)
170,300	518	102	-	-	-	nc	(26)
79,900	511	102	x	x	x	x	(27)
28,700	495	102	-	-	-	nc	(28)
188,300	504	100	-	-	-	nc	(29)
48,100	513	102	-	-	-	nc	(30)
37,400	495	102	-	-	-	nc	(31)
73,300	514	103	-	-	-	nc	(32)
98,100	509	102	-	-	-	nc	(33)
169,200	526	100	-	-	-	nc	(34)
137,400	523	103	-	-	-	nc	(35)
114,100	504	101	-	-	-	nc	(36)
62,500	474	101	x	x	x	x	(37)
...	463	100	nc	(38)
...	480	101	nc	(39)
72,600	499	101	-	-	-	nc	(40)
74,500	498	98	-	-	-	nc	(41)
57,500	460	98	-	-	-	nc	(42)
...	481	98	-	-	-	nc	(43)
...	430	97	-	-	-	nc	(44)
185,700	499	98	-	-	-	nc	(45)
134,400	527	97	-	-	-	nc	(46)
63,600	478	98	x	x	x	x	(47)
188,400	515	97	3	133	4	88	(48)
115,400	503	98	0	176	1	83	(49)
89,400	497	95	2	231	5	109	(50)
...	480	98	nc	(51)
...	511	93	nc	(52)
107,600	483	96	6	213	13	93	(53)
...	443	96	nc	(54)
...	495	96	nc	(55)
2,500	309	88	-	-	-	nc	(56)
...	370	97	-	-	-	nc	(57)
...	180	63	-	-	-	nc	(58)

3 全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

2 平成24年産水稻の被害面積及び被害量

全 国 都道府県	総 数		気 象 被 害				病 害		虫 害	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	日 照 不 足		被害面積	被害量	被害面積	被害量
					被害面積	被害量				
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
全 国	3,083,000	526,000	1,729,000	329,900	666,700	149,000	701,800	123,700	532,200	49,700
北 海 道	105,400	15,200	68,300	12,000	-	-	19,200	2,700	16,200	399
青 森	39,400	6,180	19,400	4,190	10,300	2,110	10,200	1,360	7,710	468
岩 手	69,100	11,300	61,100	9,870	27,500	4,760	4,340	1,160	2,120	157
宮 城	82,800	19,300	55,400	13,300	19,400	3,870	14,300	4,220	10,200	1,150
秋 田	209,600	42,000	166,900	36,700	61,900	13,000	21,800	4,410	20,300	883
山 形	174,100	29,300	127,000	26,200	66,800	15,300	16,700	2,180	23,700	712
福 島	155,800	18,800	114,900	11,200	36,100	1,840	18,900	5,730	19,500	1,500
茨 城	64,700	20,900	24,000	8,560	-	-	20,400	8,160	17,900	3,590
栃 木	93,200	24,900	39,000	20,000	37,000	19,300	27,100	3,460	21,200	1,110
群 馬	22,000	8,140	5,630	4,090	-	-	6,870	2,380	5,990	954
埼 玉	124,300	15,800	58,300	9,130	-	-	36,500	4,830	28,200	1,760
千 葉	56,500	8,570	40,500	6,030	3,880	440	9,250	1,550	4,370	710
東 京	255	20	96	7	-	-	48	6	66	2
神 奈 川	6,690	582	1,940	225	-	-	2,850	210	1,170	97
新 潟	154,800	13,000	89,600	9,950	-	-	29,000	1,710	30,000	1,010
富 山	64,100	5,350	42,100	3,480	-	-	7,350	608	12,300	832
石 川	38,900	2,470	30,300	1,600	-	-	5,030	466	2,790	170
福 井	72,700	5,030	55,000	2,410	26,400	1,000	11,500	1,750	5,790	485
山 梨	7,620	2,010	3,760	985	2,050	389	1,880	622	1,470	243
長 野	83,400	15,300	49,000	11,800	-	-	7,860	1,320	18,700	1,420
岐 阜	33,100	7,020	4,380	1,120	705	55	16,200	3,730	8,410	886
静 岡	39,700	4,730	17,200	1,890	8,980	400	7,540	969	10,200	1,150
愛 知	104,300	8,340	56,700	3,960	26,200	3,080	22,800	2,680	19,100	1,270
三 重	60,300	9,980	30,100	5,140	12,400	1,560	16,500	2,720	9,010	1,010
滋 賀	84,500	9,350	35,900	2,790	14,800	693	26,500	4,650	20,000	1,320
京 都	24,500	2,520	13,400	519	11,600	270	3,230	364	6,030	474
大 阪	7,250	1,610	560	34	-	-	3,000	905	2,140	482
兵 庫	81,900	13,300	49,900	10,300	21,600	5,690	12,300	1,300	16,200	1,040
奈 良	10,900	2,740	350	19	120	5	7,220	2,030	2,920	402
和 歌 山	17,800	2,780	6,290	1,010	3,100	600	5,580	913	4,590	606
鳥 取	20,100	3,170	8,420	1,460	3,070	289	7,320	1,150	4,030	397
島 根	34,200	4,710	21,900	2,910	6,100	760	8,910	1,310	2,160	154
岡 山	70,500	11,800	26,100	4,750	15,500	3,490	28,600	4,380	13,700	1,910
広 島	31,700	6,010	18,100	2,840	10,400	1,190	7,620	1,330	4,210	856
山 口	57,700	8,820	33,800	4,600	22,900	3,420	11,100	2,290	8,430	1,160
徳 島	48,300	7,330	18,300	3,890	13,200	3,290	16,700	2,770	10,800	446
香 川	47,400	6,790	18,700	3,380	13,500	2,000	17,300	2,460	8,880	583
愛 媛	42,000	8,150	20,900	5,200	14,700	4,390	9,820	1,130	9,350	942
高 知	40,300	7,110	17,300	4,800	11,500	3,780	7,040	1,010	13,400	659
福 岡	116,700	19,500	47,500	9,430	28,100	6,130	49,700	7,510	14,100	1,600
佐 賀	59,200	17,100	33,900	12,800	20,900	10,000	14,900	2,690	9,650	1,290
長 崎	42,300	9,010	28,400	6,390	12,100	1,510	6,970	1,300	5,860	768
熊 本	104,600	28,700	51,800	15,500	38,100	10,900	30,600	8,470	20,700	4,020
大 分	70,400	15,800	25,300	7,950	23,600	6,610	32,200	5,830	10,500	806
宮 崎	75,300	19,500	31,500	12,100	19,100	9,390	28,400	5,330	14,200	1,740
鹿 児 島	131,900	25,200	58,700	12,700	22,700	7,360	33,000	5,610	33,900	6,090
沖 縄	915	496	851	446	394	102	0	0	36	21

【参考1】

平成24年産水稻の作柄表示地帯別作況指数

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数		
北海道 (107)	狩野川	106	群馬 (103)	中毛	100		
	狩野川	107		北毛	104		
	空知川	107		東毛	105		
	留萌	106		東部	100		
	渡島	107		西部	97		
	檜山	108		千葉 (104)	京葉	102	
	後志	106			九十九里	104	
	胆振	108			南房総	103	
	日高	107			東京 (101)	東京	101
	十勝	125		神奈川 (100)		神奈川	100
	網走	114				新潟 (104)	岩船
青森 (106)	青森	107	下越北				107
	津軽	106	下越南		105		
	南部・下北	106	中越	101			
	岩手 (105)	北上川上流	104	魚沼	99		
北上川下流		105	上越	103			
東部		107	佐渡	103			
北部		107	富山 (100)	富山	100		
宮城 (105)	南部	105		石川 (101)	加賀	101	
	中部	104			能登	102	
	北部	106			福井 (100)	嶺北	100
	東部	106	嶺南			100	
秋田 (100)	県北	99	山梨 (99)	山梨		99	
	県中	100		長野 (98)		東南	97
	県南	100			信信	100	
	山形 (102)	村山			101	中	98
最上		104	北		97		
置賜		101	岐阜 (101)	西濃	101		
庄内		102		中濃	101		
福島 (104)	中通り	104		東濃	101		
	浜通り	101		飛騨	101		
	会津	101	静岡 (101)	東部	100		
	茨城 (103)	北部		104	西部	101	
鹿行		104		栃木 (101)	北部	101	
南部		102			中部	99	
西部		104	南部		102		

平成24年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（続き）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
愛知 (101)	尾張	100	高知 (98)	中東部	98
	西三河	101		西部	96
	東三河	100			
三重 (101)	北勢	103	福岡 (98)	福岡	96
	中勢	100		北東部	98
	南勢	101	筑後	99	
	伊賀	101			
滋賀 (102)	湖南	102	佐賀 (97)	佐賀	97
	湖北	102		松浦	96
京都 (102)	南部	102	長崎 (98)	西彼	97
	北部	101		東南部	98
大阪 (102)	大阪	102		県北	97
		101		五島	86
兵庫 (100)	県南	99	壱岐・対馬	106	
		100	熊本	100	
		100	阿蘇	85	
奈良 (102)	奈良	102	熊本 (97)	県南	99
		102		天草	95
和歌山 (102)	和歌山	102		大分 (98)	北部
		103	湾岸		96
鳥取 (103)	東部	102	宮崎 (95)		南部
		102		日田	99
島根 (102)	出雲	102		鹿児島 (96)	広域沿海
		102	広域霧島		93
岡山 (100)	南部	101	薩摩半島		西北山間
		99		出水薩摩	97
広島 (103)	南部	102		伊佐始良	大隅半島
		103	熊毛・大島		95
山口 (101)	東部	100	沖縄 (88)		沖繩諸島
		101		八重山	87
		102			
徳島 (101)	北部	101			
		100			
香川 (101)	香川	101			
	愛媛 (98)	東予	100		
		中予	98		
南予		96			

【参考2】

平成24年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量（子実用）
及び10a当たり収量（全国農業地域別）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（【参考4】参照）。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、刈取り済みの地域について、ふるい目幅の重量割合並びに選別ふるい目幅別収穫量（子実用）及び10a当たり収量の概数値を示すと次のとおりである。

1 ふるい目幅別重量分布状況

区分	合計	ふるい目幅					
		2.00mm以上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
全国農業地域							
全 国							
重量割合(%)	100.0	81.7	13.0	2.2	1.5	1.0	0.6
対平均差		4.9	△ 3.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2
北 海 道							
重量割合(%)	100.0	79.0	15.2	2.3	1.6	1.2	0.7
対平均差		△ 2.1	1.4	0.1	0.1	0.3	0.2
東 北							
重量割合(%)	100.0	87.2	9.4	1.5	1.0	0.6	0.3
対平均差		6.4	△ 4.3	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3
北 陸							
重量割合(%)	100.0	84.5	11.4	1.7	1.2	0.8	0.4
対平均差		5.5	△ 4.1	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2
関 東 ・ 東 山							
重量割合(%)	100.0	77.5	16.5	2.6	1.8	1.0	0.6
対平均差		6.3	△ 4.1	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.3
東 海							
重量割合(%)	100.0	86.0	9.5	1.8	1.1	0.9	0.7
対平均差		7.8	△ 5.6	△ 1.2	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.2
近 畿							
重量割合(%)	100.0	82.6	11.6	2.2	1.7	1.1	0.8
対平均差		3.9	△ 2.6	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.1
中 国							
重量割合(%)	100.0	84.1	11.0	2.0	1.4	0.9	0.6
対平均差		2.2	△ 1.4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1
四 国							
重量割合(%)	100.0	77.7	15.1	3.0	2.0	1.4	0.8
対平均差		6.8	△ 4.5	△ 1.2	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.2
九 州							
重量割合(%)	100.0	70.4	19.9	4.2	2.6	1.8	1.1
対平均差		2.7	△ 1.8	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.1

注：1 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

2 選別ふるい目幅別収穫量（子実用）及び10a当たり収量

全 国 農業地域	区 分	選別ふるい目幅別収穫量及び10a当たり収量					
		1.70mm 選別	1.75mm 選別	1.80mm 選別	1.85mm 選別	1.90mm 選別	2.00mm 選別
全 国	収穫量（子実用）（t）	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
	10a当たり収量（kg）	540	537	531	523	511	441
北 海 道	収穫量（子実用）（t）	640,600	636,100	628,400	618,200	603,400	506,100
	10a当たり収量（kg）	572	568	561	552	539	452
東 北	収穫量（子実用）（t）	2,288,000	2,281,000	2,267,000	2,245,000	2,210,000	1,995,000
	10a当たり収量（kg）	577	575	572	566	557	503
北 陸	収穫量（子実用）（t）	1,141,000	1,136,000	1,127,000	1,114,000	1,094,000	964,000
	10a当たり収量（kg）	545	543	538	532	523	461
関東・東山	収穫量（子実用）（t）	1,603,000	1,593,000	1,577,000	1,548,000	1,507,000	1,242,000
	10a当たり収量（kg）	542	539	533	524	509	420
東 海	収穫量（子実用）（t）	516,900	513,300	508,600	502,900	493,600	444,500
	10a当たり収量（kg）	507	503	499	493	484	436
近 畿	収穫量（子実用）（t）	561,400	556,900	550,700	541,200	528,800	463,700
	10a当たり収量（kg）	515	511	505	496	485	425
中 国	収穫量（子実用）（t）	601,400	597,800	592,400	584,000	571,900	505,800
	10a当たり収量（kg）	524	521	516	509	498	441
四 国	収穫量（子実用）（t）	269,000	266,800	263,100	257,700	249,600	209,000
	10a当たり収量（kg）	482	478	471	462	447	375
九 州	収穫量（子実用）（t）	895,700	885,800	869,700	846,400	808,800	630,600
	10a当たり収量（kg）	489	484	475	462	442	344

注：1 選別ふるい目幅別の収穫量とは、全国及び農業地域別の収穫量に選別ふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 選別ふるい目幅別の10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことである。

【参考3】

農家等が使用した選別ふるい目幅の分布

【平成24年産水稲作況標本(基準)筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

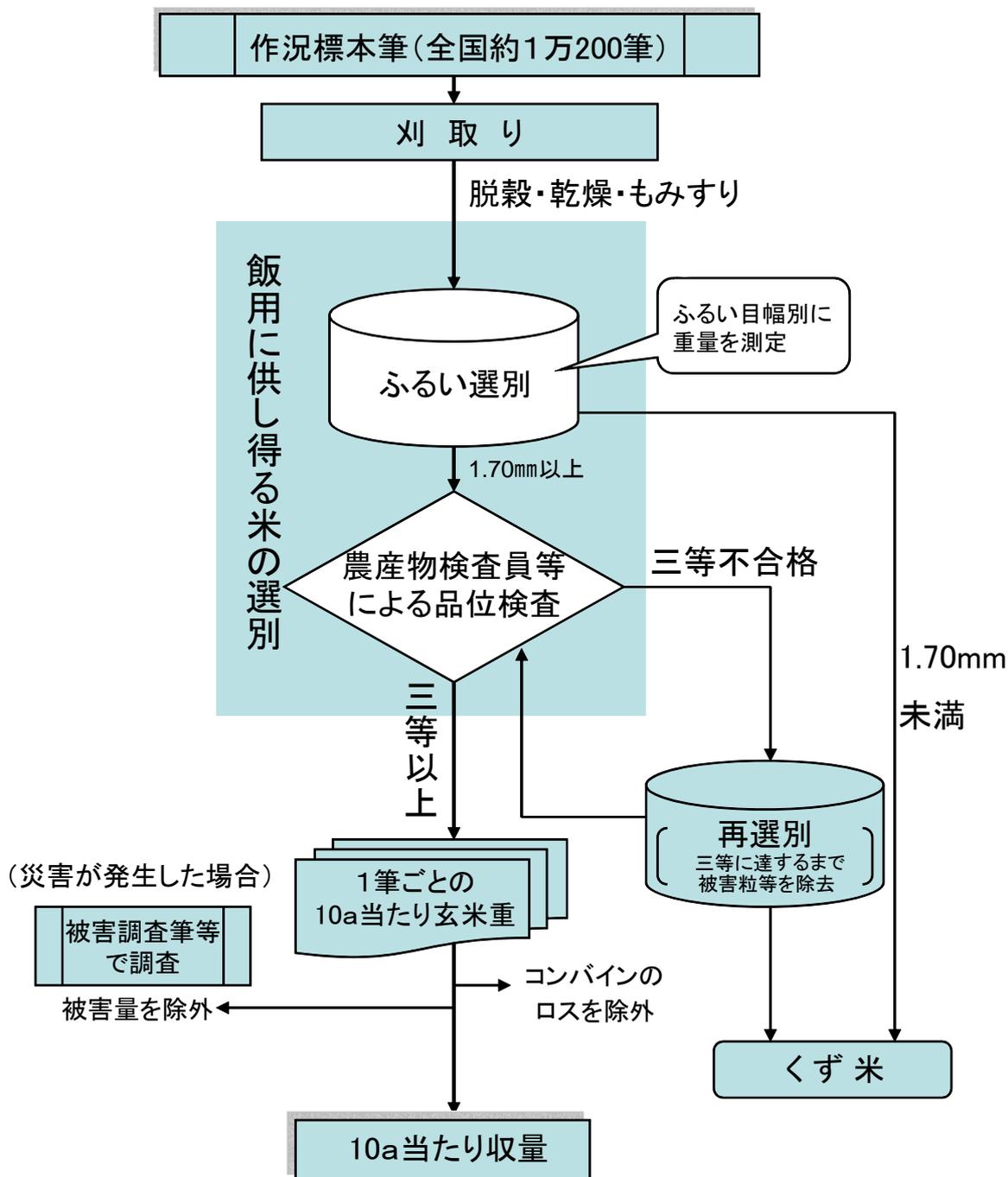
区分 全国農業地域	合計	2.0mm 以上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
全 国	100.0	1.1	32.6	36.7	26.4	2.5	0.7
北 海 道	100.0	10.0	73.6	14.2	2.2	-	-
東 北	100.0	0.1	80.8	18.5	0.6	-	-
北 陸	100.0	0.7	56.6	40.5	2.2	-	-
関 東・東 山	100.0	0.6	3.0	45.3	44.2	6.5	0.4
東 海	100.0	0.2	13.6	45.2	40.4	0.2	0.4
近 畿	100.0	2.2	17.8	31.0	40.9	4.5	3.6
中 国	100.0	0.7	6.6	75.0	17.0	0.6	0.1
四 国	100.0	-	0.7	18.4	68.7	11.7	0.5
九 州	100.0	-	6.9	42.3	47.0	2.4	1.4

注： この表は水稲作況標本（基準）筆農家を使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

【参考4】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考5】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考5】

ふで
作況標本筆とは

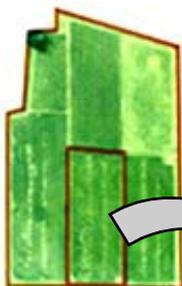
ふで
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼ぶ。)は、都道府県ごとの水稻の10a当たり収量が把握できるように、標本理論に基づいて以下のよう
に各地で選定(全国で約1万200筆)している。

都道府県内の全耕地
(母集団)



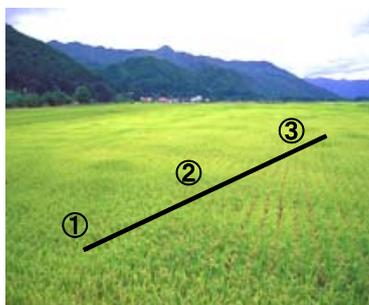
- 1 都道府県ごとの耕地を、約2ha(北海道は約10ha)の区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きのような選び方)により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(約2ha)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万200筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所(①、②、③)を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び稲調査（水稲・陸稲）収穫量調査として実施し、水陸稲の作付面積、作柄状況・収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導、共済事業の適切な運営等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

3 調査対象数

(1) 作付面積調査

ア 水稲

標本単位区：39,484単位区、巡回・見積り：1,720市町村

イ 陸稲

関係団体調査			巡回・ 見積り 市町村数
団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①	
団体	団体	%	市町村
28	28	100.0	1,720

(2) 収穫量調査

ア 水稲

作況標本筆：10,200筆、作況基準筆：721筆、巡回・見積り：1,720市町村

イ 陸稲

関係団体調査			標本経営体調査				
団体数 ①	有効 回収数 ②	有効 回収率 ③=②/①	母集団 経営体数 ④	標本数 ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効 回収数 ⑦	有効 回収率 ⑧=⑦/⑤
団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
25	21	84.0	4,876	523	10.7	186	35.6

注：「有効回収数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった経営体等は含まれていない。

関係団体調査は、調査対象作物の集荷を行っている全ての農協等の関係団体に対して調査を実施している全数調査である。

標本経営体調査の標本抽出は、2010年農林業センサスにおいて、調査対象作物を販売目的で作付けした農林業経営体から無作為に抽出（母集団名簿を作付面積順に並べ替えを行い、設定した作付面積規模別の標本数に応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）したものである。

4 調査事項

(1) 作付面積調査

水陸稲：作付面積

(2) 収穫量調査

ア 水 稲：登熟状況、10 a 当たり収量、被害状況、被害種類別被害面積・被害量、耕種条件等

イ 陸 稲：10 a 当たり収量及び収穫量

5 調査期日

(1) 作付面積調査

ア 水 稲：7月15日現在

イ 陸 稲：収穫期

(2) 収穫量調査

水陸稲：収穫期

6 調査方法

(1) 作付面積調査

ア 水 稲

標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積り及び情報収集により行った。

イ 陸 稲

関係団体に対する往復郵送調査、職員による巡回・見積り及び情報収集により行った。

(2) 収穫量調査

ア 水 稲

作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

イ 陸 稲

関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・情報収集により行った。

7 集計方法

(1) 作付面積調査

ア 水 稲

対地標本実測調査結果を基に、巡回・見積り結果及び情報収集結果により補完し算出している。

イ 陸 稲

関係団体調査結果を基に、巡回・見積り結果及び情報収集結果により補完し算出している。

(2) 収穫量調査

ア 水 稻

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完し算出している。

イ 陸 稻

往復郵送調査結果により算出した10 a 当たり収量を、必要に応じて巡回・情報収集結果により補完し、作付面積を乗じて算出している。

なお、往復郵送調査結果により算出した10 a 当たり収量については、関係団体が取り扱う数量の割合がおおむね8割以上の場合は団体調査結果を、おおむね8割未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WC S用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率である。
- (3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。
- (4) 「10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率をいう。
- (5) 「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量から減収した面積をいう。
- (6) 「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量より減収した量をいう。

9 その他

- (1) 沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある（なお、10月15日現在の沖縄県計の10 a 当たり予想収量は、第二期稲に関し未確定の要素が多いことからその算出に当たり第二期稲の平年収量を用いたが、第二期稲の作柄が台風の影響等により大きく低下したため、10 a 当たり収量が変動することとなった）。

これらを含め、この資料の確定した詳細な数値はホームページに掲載（平成25年2月下旬予定）するとともに、その後刊行する『耕地及び作付面積統計』及び『作物統計』に掲載する。

なお、確定した詳細な数値をホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせする。

- (2) 滋賀県の一部において、除草剤の飛散により廃棄することが見込まれるものがあるが、それらの作付面積及び収穫量も本調査結果に含めている。

- (3) 沖縄県の水稲作付面積（第二期稲）について、平成24年10月30日に公表した「平成24年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）」の数値に訂正があった。

なお、これによる全国値の訂正はない。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3681

(直通) 03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682

(直通) 03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644